

みんな deこそだて!



ひとり子育てから地域家族化へ

「孤育て」から、地域で支え合う新しい社会システムへ

一般社団法人こっこぴあ

私たちのビジョン

子育てを、個人の責任から 社会の仕組みへ。

子どもを育てることは、未来を育てること。ひとりの親にすべてを委ねるのではなく、社会全体でやさしく包み込む「地域家族化」を私たちは目指します。

- ・
不安や孤独を解消する居場所づくり
行政と民間をつなぐ情報の最適化
誰もが「ありのまま」でいられる社会



子育て環境の歴史的変遷

高度経済成長期

農村から都市へ人口が移動。専業主婦が「標準」となり、公的保障が整備され始めた時代。

核家族の標準化

三世代同居から核家族へ。地域共同体が希薄化し、育児が密室化し始めた時代。

現代：孤育ての深刻化

共働き・ひとり親の増加。情報過多の中で「自分に届く情報」が喪失した孤独の時代。

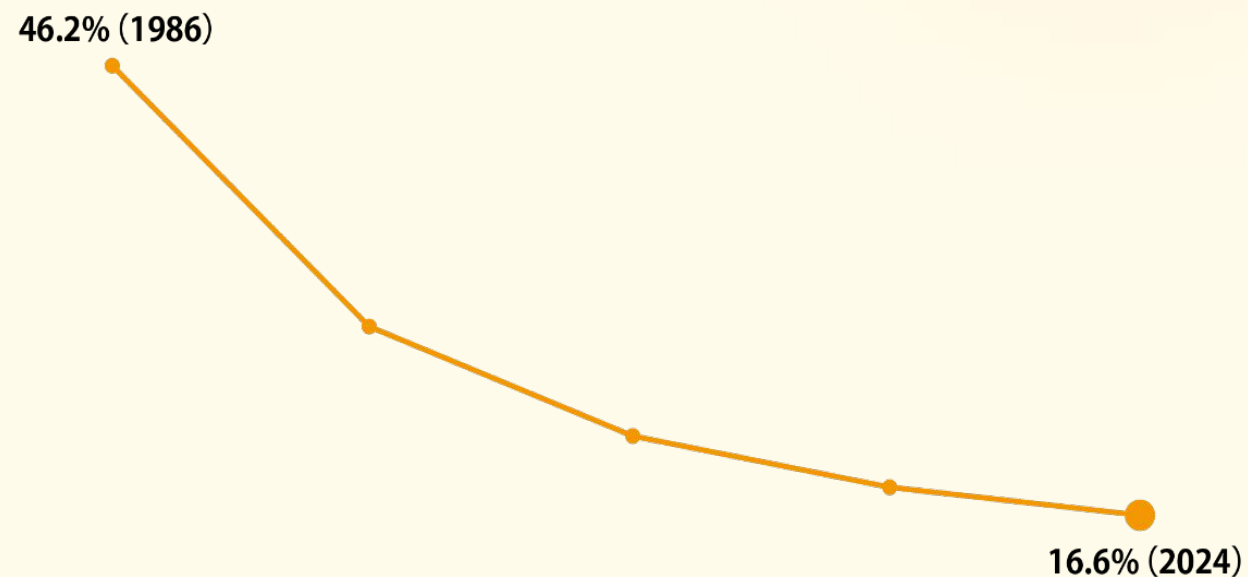
激変する社会構造

16.6%

児童のいる世帯の割合（2024年）

1986年の46.2%から激減。子育て世帯は今や地域の中で圧倒的な「マイノリティ」となっています。

周囲に頼りづらい構造的要因がここにあります。



常態化するワンオペ育児

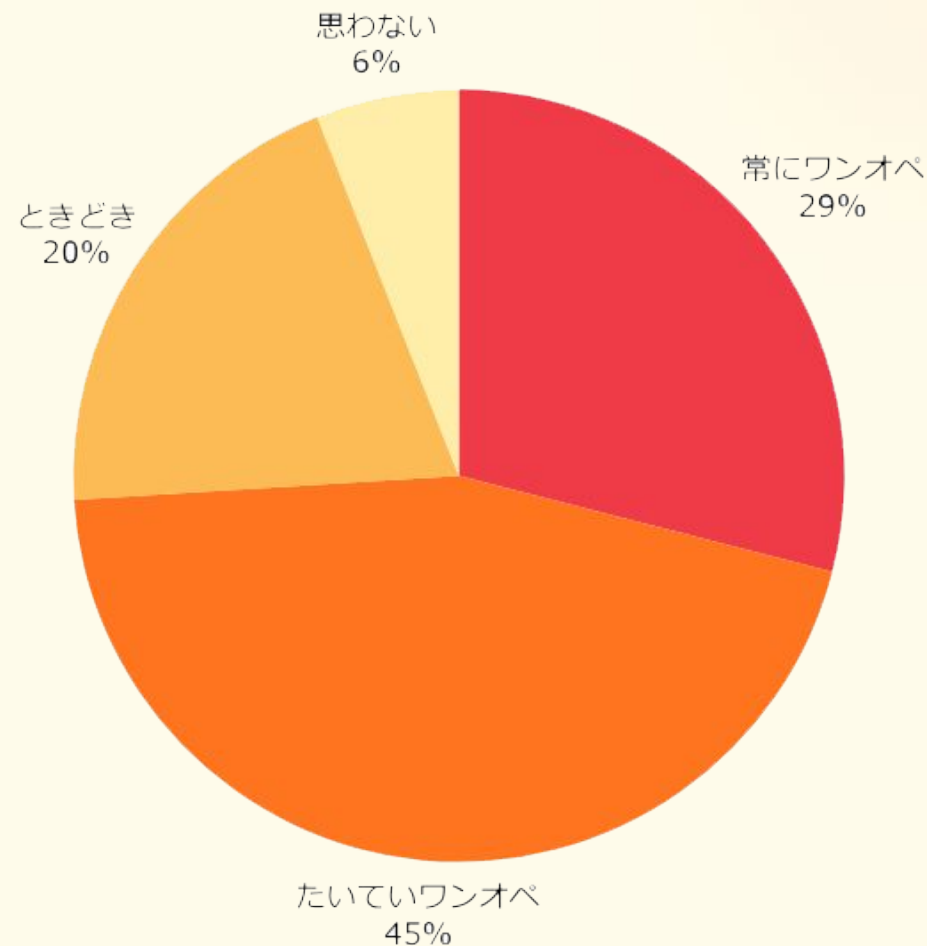
74%

家事育児のワンオペ実感

8世帯に1世帯がひとり親家庭。さらに共働き世帯でも

「常に・たいていワンオペ」と感じている親が7割を超えています。

息つく暇のない現実が、親の心身を蝕んでいます。



子育ては「学習」である



本能ではなく習得するもの

親子の絆を支える神経回路はあっても、画一的な「本能」ではありません。養育者との繋がりや、他者の子育てを見て学ぶことで育まれるものです。



他者との関わりが必要

固定の養育者との「愛着」が安心の基盤を作り、地域や他者との「関わり」が社会で生きる力を育てます。孤立した育児ではこの学習が困難になります。

支援を阻む「4つの壁」



情報の壁

手続きが複雑で、必要な情報に辿り着けない。



制度の壁

縦割り行政や所得制限による「制度の間隙」。



心理の壁

「助けて」と言えない罪悪感や躊躇。



供給の壁

ニーズと支援内容のミスマッチ。

制度を利用できているのは、わずか **38.7%** にすぎません。

支援を「機能させる」中間支援

行政・企業・地域資源・当事者を結びつけ支援をスムーズに届ける「社会的ハブ」としての役割を担います。

▶現場から、仕組みへ

現場の活動から当事者の声や課題を集め、一過性で終わらない地域モデルや連携事業の仕組みへとつなげています。

▶連携・協業のかたち

行政施策の実装や広報、企業のCSV活動、実証事業の共同実施など、目的や規模に応じた柔軟な協業が可能です。

▶目指すのは、支えが自然に届く地域

子育てを孤立させない社会を地域で実現し、支援を「ただ存在するもの」から「必要な人へ確実に届くもの」へと変えていきます。



PROJECT 01: 関係を育てる

「楽しい！」を入りに

地域との繋がりを広げていく

支援が必要になる前に、誰もが楽しく集える場を創ります。
紙ひこうき大会などのイベントを通じて、世代を超えた
頼り合える関係性を構築します。

「初めて会うお母さんとお話しできて、心が軽くなりました」

— 参加者の声



PROJECT 02: 今を支える

“探す手間”をゼロにする

こっこナビ

支援情報は「わざわざ探すもの」から

「いつも隣にあるもの」へ。

点在している地域支援情報を集約し、可視化。必要な人に必要な情報が届くシステムを構築します。



こっこナビ公式LINE（プロト版）

※初期登録の際、杉並区で住所登録していただくことで全ての情報が見れます



地域支援の
集約・可視化



使える相談窓口

PROJECT 03: 未来をひらく

環境を選択できる社会へ

- 🏠 住まいのセーフティネット：空き家活用
- 📁 経済的自立支援：独自の就労プログラム
- 🛠️ プラットフォーム構築：全国へのネットワーク展開

一過性の支援ではなく、家族の基盤を強くし、
未来の選択肢を広げます。



企業との連携

共に大きな社会変革を。次世代を育むパートナーシップ
共創で生まれる、貴社の新たな「企業価値」



ESG・CSVへの実質的貢献

子育て・地域課題の解決を通じた非財務価値の創出



信頼とブランドの向上

地域社会に根ざした「次世代育成企業」としてのプレゼンス



未来の人材基盤づくり

次世代を担う子どもたちの健やかな成長への投資



多様な連携のカタチ



プロジェクト協賛・人的支援

イベントへの共催や、社員様のプロボノ・ボランティア参画



事業・サービス連携

貴社のアセットを活用した新しい支援サービスの共同開発

行政との連携

子育て支援を「制度」から、確実に「届く仕組み」へ
官民の垣根を超えた協働による「行政のメリット」



制度の到達率向上とDXの推進

『こっこナビ』を通じ、デジタル施策を「真に使われる施策」へ。
複雑な情報を整理し、当事者のスマホまで確実に届けます。



リスクの早期発見

既存の窓口には声を上げにくい、潜在的な孤立家庭をアウト
リーチで早期把握します。



地域支援力の底上げ

官民の枠を超え、地域のリソースを最大化し、支援の厚みを
増やします。



具体的な協働メニュー

● 窓口・導線の補完

行政窓口の手前にある「日常のタッチポイント」を創出します。

● モデル・実証事業の推進

地域課題に特化した柔軟な共同プロジェクトを、スピーディーに
展開します。

理事紹介



代表理事

小林 万紀

Maki Kobayashi

心躍る方へ、迷わず進もう。

私の人生は、創造と共有。
アイデアを形にし人と分かち合うことで、誰かの心が少しでも
明るくなる瞬間をつくりたいと考えています。

新潟県三条市出身。東京在住。
グラフィックデザイナーとして25年、レイアウトデザインを中心に制作を
手がける。
環境配慮紙を活用したSDGsデザインにも積極的に取り組み、持続可能な
表現のあり方を追求。

幼少期の体験を解明するために大学で発達心理学を学び、その後ワンオペ
育児やシングルマザーとしての子育て経験を通じ、核家族化が進む現代に
おける「地域家族化」の必要性を痛感。
その想いを形にするため、各分野の専門家と共に一般社団法人こっこぴあ
を設立。
同じ志を持つ組織・団体・行政と連携し、全国で横のつながりを広げなが
ら、多様な人が安心して集える「異場所づくり」を進めている。
子どもたちが見ている《未来》を、養育者や地域が共に見守り、やさしく
支え合う社会の実現を目指している。

理事紹介



副理事

岡田 陽平

Yohei Okada

子どもが夢を描ける未来を創造する

埼玉県出身、現在新潟県に在住。

子どもの頃から自信がなく、相手にどう思われるのかばかり気にしてきた。思春期になり、天然パーマのコンプレックスから美容師を目指し、ファッションショーをきっかけにイベントーターとして活動。多くの人と関わり、話を聴くことが相手の人生を大きく変える力があることを実感する。

現在は「子どもが夢を描ける未来を創る」をテーマに、地方創生、子育て支援、自分らしく生きるオトナのために活動中。

趣味は家族でアウトドアで、好きな菓子はチョコレート。

- 株式会社ぱずる 事業部長
- イベントプロデューサー
- 基礎心理カウンセラー（日本/アメリカ）
- 日本バーベキュー検定中級

理事紹介



副理事

長谷川 敏栄

Toshiei Hasegawa

挑戦する一歩が未来を切り開く

この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ、行けば分かるさ。

新潟県三条市、旧下田村の農村に生まれ、海の町に憧れて今は柏崎市に在住。一級建築士として30年以上、木造住宅から高層マンションまで幅広い建築に関わってきた。

2007年の中越沖地震を機に地元柏崎の商店街復興のお手伝いからまちづくりの世界に足を踏み入れる。

現在、建築設計を生業としながら、地域住民の幸せな暮らしのために、地域コミュニティ再生、商店街活性化、空き家・空き店舗利活用、古民家再生に力を注いでいる。

自分が住む地域に誇りを持つ、その一つは、日本らしいデザインされた居心地のよい家に住まうこと。各地の伝統的建築物を活かしながら、稼げる地域を創り出し、住民みんなの熱量をあげていくことが地域を元気にしていくことに繋がる。特に女性の活躍がとても重要。現在、シングルマザーの就労支援とシェアハウスのパッケージを企画している。

- ライブデザイン株式会社 代表取締役
- NPO法人まちづくり学校、他NPO法人の活動として子供のまちづくり参画・商店街参画・防災教育等、市民活動コーディネーター養成、市街地・中山間地（農漁村）でのみらい会議運営
- 新潟産業大学非常勤講師として非営利組織論の教鞭をとる
- 新潟県柏崎市えんま通り商店街の震災復興・商店街活性化

共に、地域家族化の輪を。

【Philosophy】

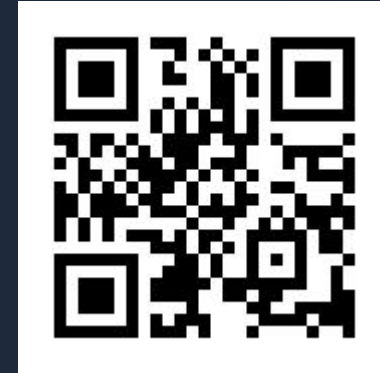
子育てを家庭だけの責任にせず、社会全体で支える。 誰もが孤立せず、安心して「ありのままの自分」でいられる社会へ。

【Mission】

すべての子どもと親が安心して暮らせる社会を実現するため、地域・行政・企業・市民をつなぎ、豊かな子育ての仕組みと温かい居場所を全国に広げます。

【事業内容】

- 子育て支援事業
- 相談窓口の設置
- イベント企画・運営(地域・企業・行政・自治体との連携)
- 研修・教育事業
- 自立支援事業



Contact us

HP

<https://www.coccopeer.com/>

Instagram

<https://www.instagram.com/cocco.peer/>

皆様との共創を心よりお待ちしております。